資料 2

博多小学校の事例

博 多 小 学 校 の 概 要



【所在地】 博多区奈良屋町 1 番38号

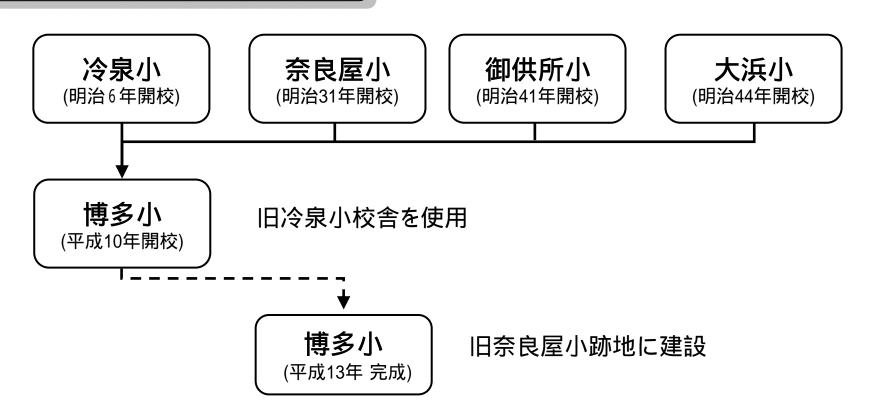
【開校】平成10年4月1日(新校舎完成:平成13年4月)

【敷 地】 9,283m²

【児童数及び学級数】(平成20年5月1日現在)

620名 20学級 内特別支援学級 4名 1学級

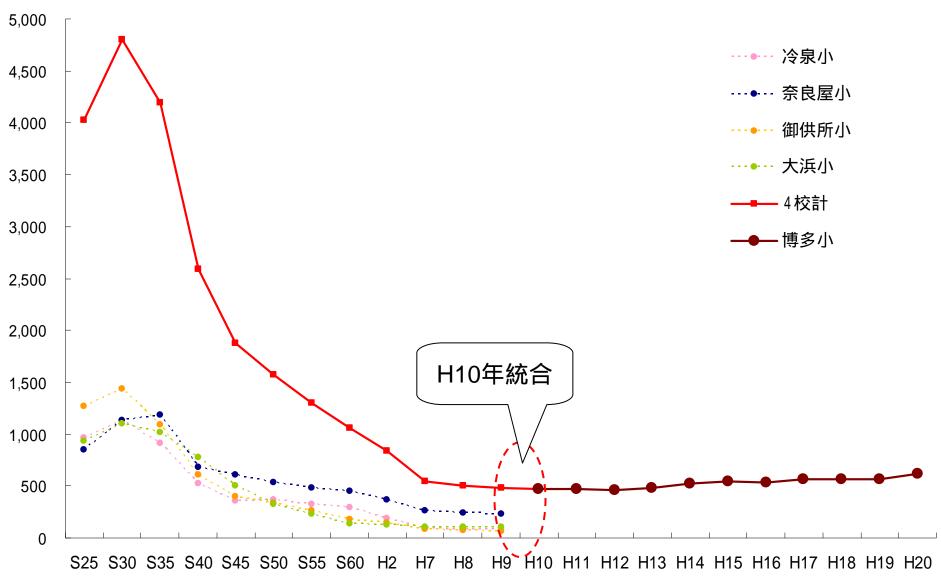
4 校 統 合 の 流 れ



[新しい「博多小学校」のコンセプト]

教育内容の充実 ・・・・地域の伝統や文化を取り入れた教育活動 など 学校施設の整備・・・・多目的スペース,表現の舞台,ランチルーム など 地域コミュニティの拠点・・・・図書室や特別教室の地域開放 など

統合前後での児童数の推移



統合の背景

統合直前の4校の学級編制

上段 児童数下段 学級数

(平成9年5月1日現在)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
冷泉小	14	12	11	15	8	26	86
/マ 水 小	1	1	1	1	1	1	6
奈良屋小	35	35	39	40	43	38	230
示及座小	1	1	1	1	2	1	7
御供所小	9	13	7	11	11	15	66
1441 1 六 171 亿	1	1	1	1	1	1	6
大 浜 小	17	18	7	17	23	18	100
八州小	1	1	1	1	1	1	6

特別支援学級を除く

統合前の教育環境

(当時の校長に対するヒアリングから)

子どもの交流の機会が増えるよう,他校と合同の行事を実施したり,学年の枠を外し 清掃を行うなどの工夫をしている。

修学旅行や卒業アルバムの写真では,集合写真を多〈入れたりして,購入枚数を増や さないと,カメラマンの契約ができない。

サッカーなどの集団で行う球技の場合,チームが編成できなかったり,ミニゲーム形式で行う必要があるため,正しいルールを体得することが難しい。

運動会では,組み体操・騎馬戦・綱引きなどの団体競技が行いにくいうえ,子どもたちは,準備・出場・片づけと忙しく,応援できる子どもが少ないため,歓声やかけ声が少なく, 盛り上がりに欠ける。

一つの学年では人数が少ないため,体力差や運動能力差があっても,他学年と合同で 体育を行う必要がある。

当時の福岡市の考え方

[方針] 都心部等で小規模化の傾向が,将来的にも継続する学校については, 「方針」 隣接する学校との統合等により適正規模の確保に努める。

博多部4小学校について

都心部の小学校の中でも,特に小規模化 が顕著(3校は児童数が100人以下) 同じ中学校区であり,歴史的にも地域のつながりが強い。

4 校 統 合

福岡市の学校教育のモデルとなるような魅力ある学校づくり人々が集まるような,地域の活性化の核となる施設

同 意 に 至 る ま で の 経 緯 < 地 域 と の 協 議 >

地域との協議

	教育委員会と地域の協議	地域の中での協議		
H7	17回	0 回	統合の是非に	
Н8	43回	3 1回	ついての協議	
H9	24回	8 回) 〉開校準備	
H10	11回	0 回		
	95 _□	39 _□		

主な意見

子どもの教育環境を第一に考え、統合を検討すべき。

指導が行き届くなどの良さがある。他校との交流機会を増やすなど教育内容の工夫で 統合しなくてもデメリットは補える。

今回統合しても人口の減少が進めば,また統合が必要になる。人口増加に向けたまちづくりの取り組みが先。

統合により、それぞれの学校の伝統が失われてしまう。

通学の安全対策や校区単位での地域活動の場,こどもの遊び場の確保が必要。

同 意 に 至 る ま で の 経 緯 < 主 な 意 見 等 へ の 対 応 >

【主な意見等】

【対応等】

教育上の工夫で課題の解決ができないかという意見



小規模のままでは、解決できない課題がある ことへの理解を求める。

地域の学校がなくなることや伝 統が途絶えることへの不安



開校準備の中で,4校の伝統行事を受け継ぐ ことを検討。

統合で通学距離が長くなる場合の安全確保への不安。



開校準備の中で,地域とともに現地調査を繰り返し,通学路を決定。

地域コミュニティが崩れ,活動 拠点がなくなることへの不安



地域コミュニティは4校区のままとし,地域 が利用しやすい学校施設を整備。

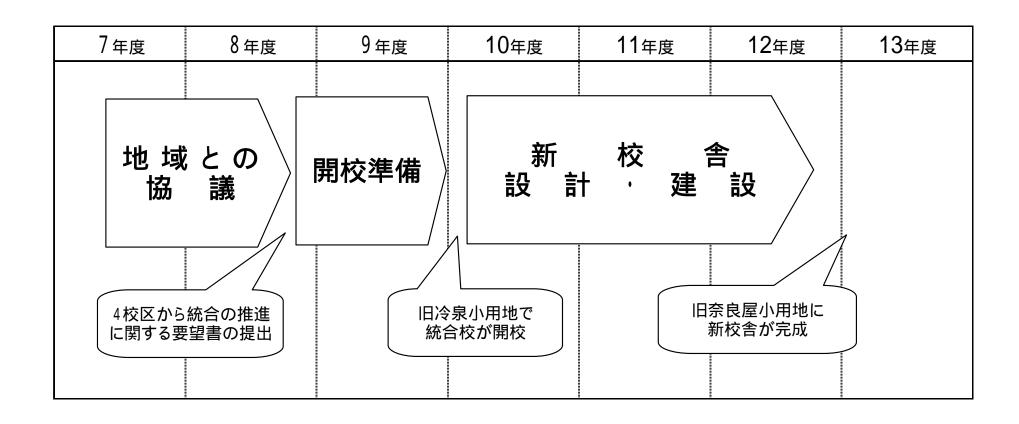
人口増加への取り組みと矛盾するのではないかという意見



地域の活性化,まちづくりの核となるような 学校づくりを行う。

議論を重ねる中で,統合への不安や疑問に対する解決方法を検討した結果,慣れ親しんだ学校がなくなることに対する感情は残りつつも,優先すべきは子どもの教育環境であるとし,4つの校区は,統合を決断した。

開校までの流れ



開校準備 校名·校章·校歌の決定 学校行事の検討 通学路の安全確認 等

統合に関する保護者アンケート

1 調査対象者

統合前後を経験している5年生・6年生の保護者 148名 (統合後に転入した児童は除く)

2 実施期間

平成14年2月25日(月)~3月1日(金)

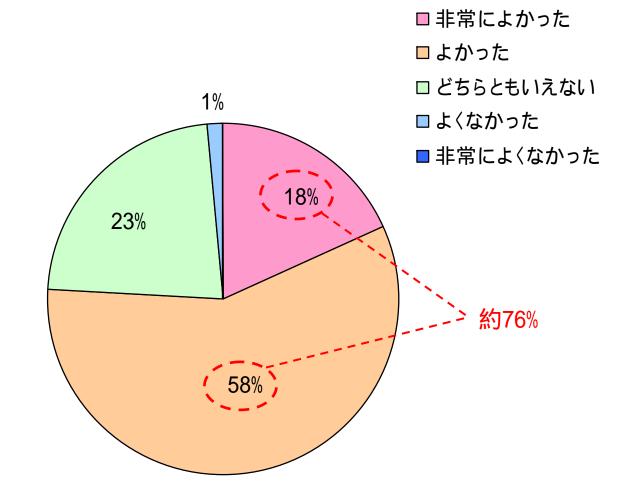
3 実施方法

学校を通じた保護者へのアンケート(無記名)

4 回収数(率)

136名 / 148名 (91.9%)

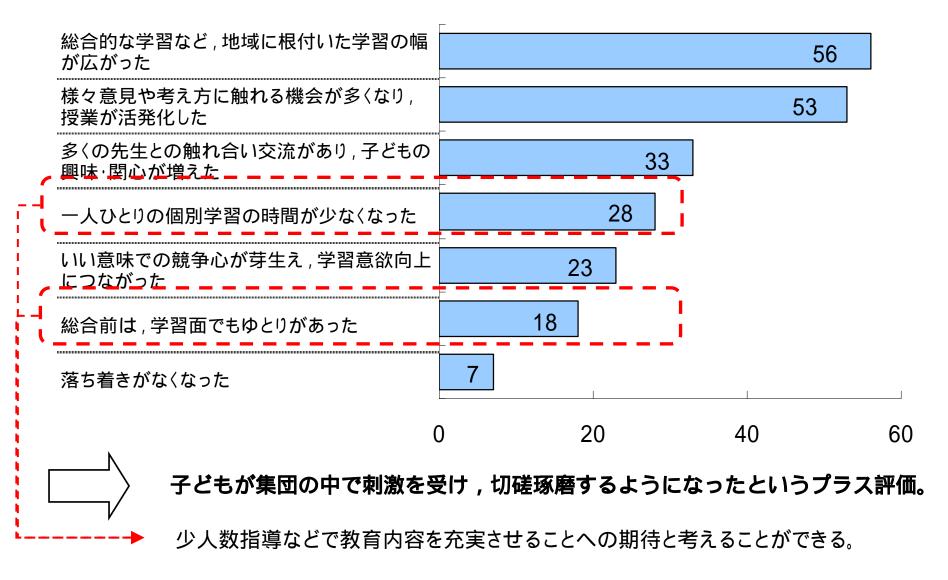
4校の統合をどのように感じるか



約76%が「非常によかった」「よかった」という好意的な回答。

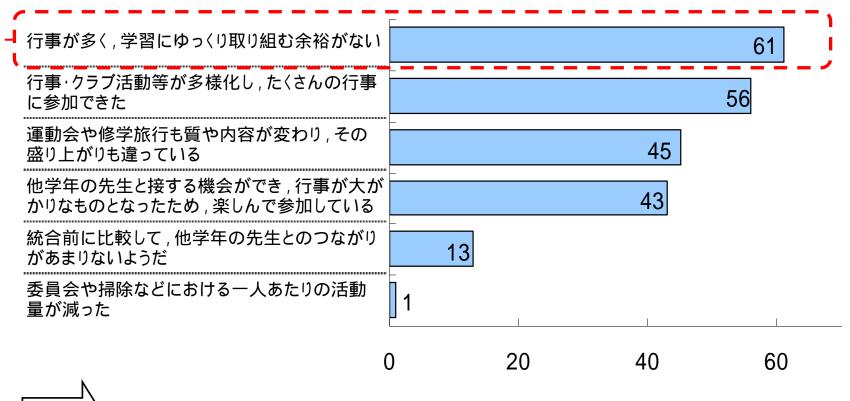
学習面での子どもの変化

2項目まで回答可能



学校行事・地域行事での子どもの変化

2項目まで回答可能

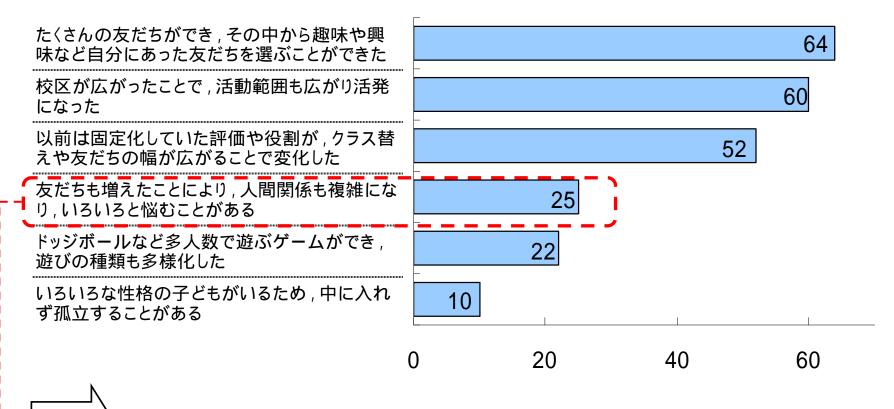




新校舎完成1年目だったために,様々な式典や全国からの視察の多さが影響していると考えられる。

人間関係,社会性での変化

2項目まで回答可能

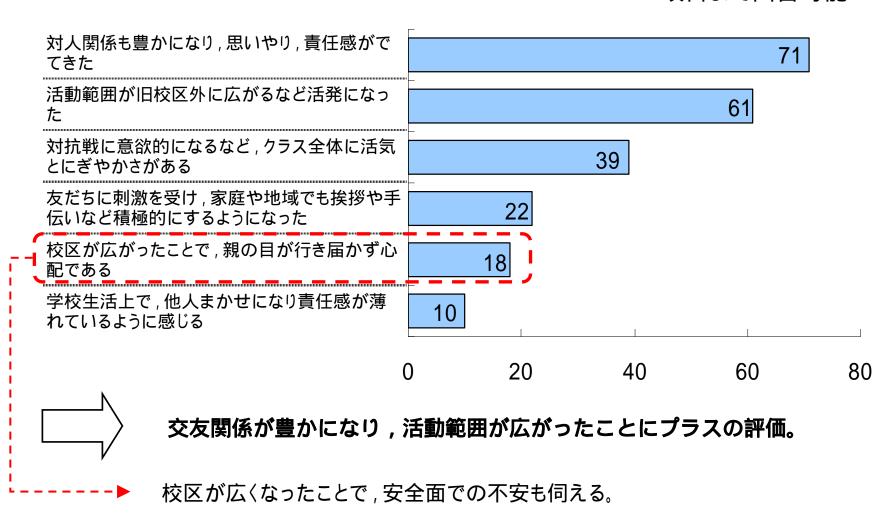


児童数が増え、社会性や協調性を培う良い環境が整ったことにプラスの評価。

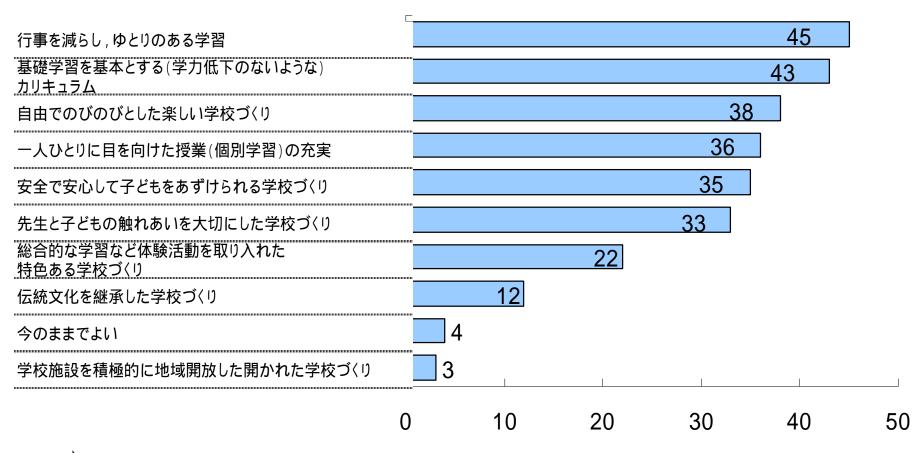
人間関係が多様化した結果であり,必ずしもマイナスの評価ではない。

生活面での子どもの変化

2項目まで回答可能



博多小学校に期待すること





新しい学校づくりに対し大きな期待がかけられている。